

経営比較分析表（令和3年度決算）

埼玉県 吉川市

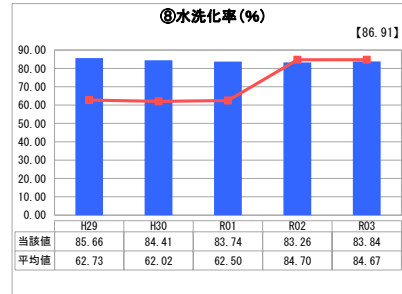
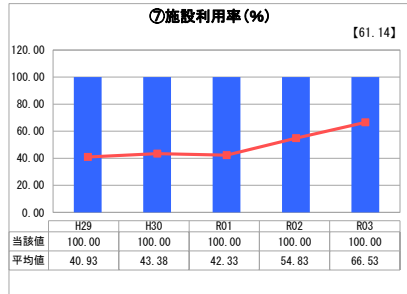
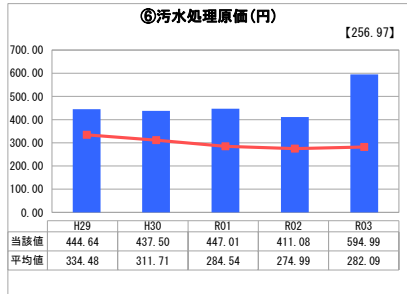
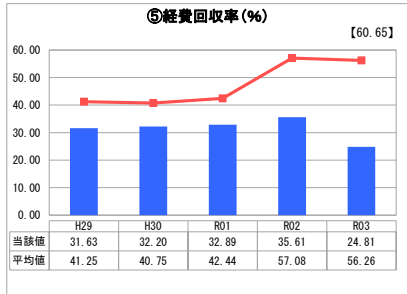
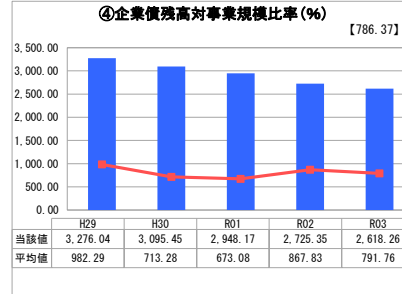
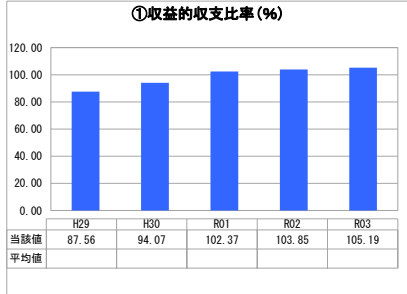
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	0.63	100.00	3,520

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
73,182	31.66	2,311.50
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
458	0.21	2,180.95

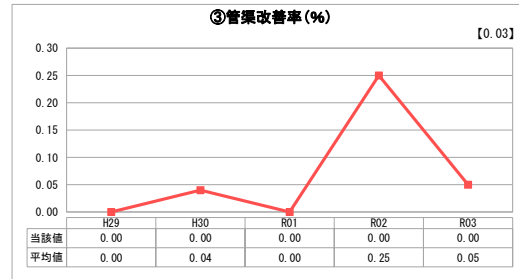
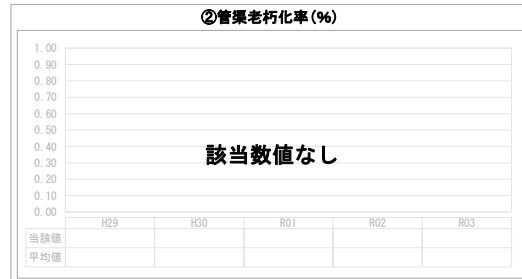
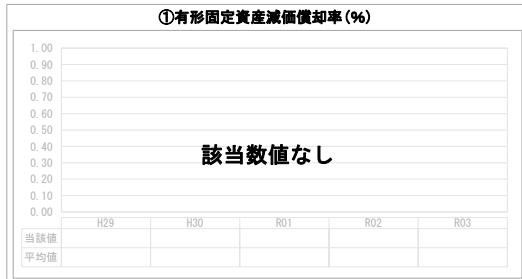
グラフ凡例

- 当該団体値 (当該値)
- 類似団体平均値 (平均値)
- 【】 令和3年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①前年度と比較すると、総収益、総費用共に国庫補助金を活用した機能診断及び最適化整備計画を策定したことにより収益的収支比率が105.19%まで増加したが、依然として、収益については一般会計からの繰入金に依存している状況である。

②前年度と比較し、営業収益が横ばいながら、企業債残高が減少したことで、企業債残高対事業規模比率も減少した。類似団体と比較すると高い水準となっているが、管路整備等、必要な設備投資が完了していることから、今後も企業債残高の減少に伴い、当該指標も下降していく。

③前年度と比較し、処理区域内人口減等により使用料収入が減少傾向である。前年度同様、依然として低い状況にあり、使用料以外の収入に依存している状況である。

④1mあたりの汚水処理に要した費用であり、前年度から増となったが、依然として類似団体の平均を上回っている。本市の事業は規模が小さく、人口減等による有収水量が大きく減となり、当指標がさらに高くなる傾向だと考えられ、今後も人口減少により有収水量の増加も見込みにくいため、より一層の施設維持管理費等経費の節約に努める。

⑤当該指標は100%を維持しており、類似団体との比較においても大幅に高い水準となっている。

⑥当該指標は横ばい～増の状況が続いている。類似団体との比較ではほぼ平均値ではあるが、今後は安定した経営を継続できるよう100%達成に向け、より一層区域内の農業集落排水への接続を推進する必要がある。

2. 老朽化の状況について

③管渠改善率
当事業の供用開始は、平成17年であり、20年を経過してならず、耐用年数が50年である管渠の更新は現時点では、不要である。

全体総括

当事業における計画エリア内の管路敷設は、既に終了しており、今後の運営については、施設等維持管理が主体となる。しかし、経費回収率の数値が示す通り、使用料の収入のみでは、当事業の運営を行ってならず、一般会計からの繰入金に依存している状況にある。今後については、策定した機能診断及び最適化整備計画に基づき今後、必要とされる管渠等施設更新事業費等の平準化を図りながら、経営戦略に基づく最も効率的・効果的な取組と経営改善をめざし実施していく。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。